

SlackBot プログラム 仕様書

2017 年 4 月 20 日
乃村研究室 西 良太

1 概要

本資料は、平成 29 年度 GN グループ B4 新人研修課題にて作成した SlackBot プログラムの仕様についてまとめたものである。本プログラムは以下の 2 つの機能をもつ。

- (1) “「〇〇」と言って” という発言に対して，“〇〇” と発言する。
- (2) “〇〇付近の ” という発言に対して，〇〇で指定された場所から近いに関連する施設とその住所を 3 件発言する。また，〇〇の場所と施設 3 件にピンを立てた地図画像を発言する。加えて，それぞれの施設について〇〇からの経路を見ることができるリンクを発言する。

2 機能

本プログラムは Slack での “@NBot” から始まるユーザの発言を受信し，それに対して返信する。返信される内容は “@NBot” に続く文字列により決定される。以下に本プログラムがもつ 2 つの機能について述べる。

(機能 1) “「〇〇」と言って” という発言に対して，“〇〇” と発言する機能。

この機能はユーザの “「〇〇」と言って” という発言に対して，一番外側の鉤括弧内の文字列を発言したユーザに返信する形式で発言する。

(機能 2) “〇〇付近の ” という発言に対して，〇〇で指定された場所の近くに関連する施設 3 件の情報を発言する機能。

この機能ではユーザの “〇〇付近の ” という発言に対して，〇〇で指定された場所周辺の ” という施設について以下の 3 つの情報をそのユーザに返信する形式で発言する。

- (1) 〇〇からの距離が近い に関連する施設 3 件の施設名と住所。
- (2) 〇〇からそれぞれの施設までの経路を見ることができる GoogleMap へのリンク。

表 1: 動作環境

Heroku サーバの環境	
OS CPU メモリ ソフトウェア	Ubuntu 14.04.5 LTS Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2670 v2 @ 2.50GHz 64GB
開発環境	
OS CPU メモリ ブラウザ ソフトウェア	Debian GNU/Linux 8.1 64bit Intel(R) Core(TM) i5-4670 CPU @ 3.40GHz 1GB firefox 52.0.2

(3) ○○と検索された3件の施設にピンを立てた地図の画像。

上記の情報は Google Maps Geocoding API , Google Places API , Google Static Maps API を利用して取得または作成している。また、地図画像の URL については Google URL Shortener API を用いて短縮したものを使用する。

上記の(機能1)と(機能2)のどちらにも当てはまらない文字列を受信したときは、
“Hi! @User” と発言する。

3 動作環境

4 動作確認済み環境

動作確認済み環境を以下の表1に示す。

5 使用方法

本プログラムの使用方法について述べる。本プログラムは Heroku 上で動作するため、Heroku へデプロイすることで実行できる。

6 エラー処理と保証しない動作

本プログラムにおけるエラー処理と保証しない動作について述べる。

6.1 エラー処理

6.2 保証しない動作